



相撲

# 東西の心

<http://www.sumoujinku.com>

冬場所号  
No.92

日本相撲甚句会  
〒130-0026 東京都  
墨田区両国 2-21-5  
ダイカンプラザ301号  
TEL. 03-3635-8834  
FAX. 03-3635-8854  
編集 飯田三千代



会員の皆様にはお健やかに新年を迎えられました事とお喜び申し上げます。毎年送らせて頂く年賀状では今年の抱負を唄にし皆様にお伝えしています。今年の句を読んだ皆様はどのようなに解釈されましたでしょうか。昨年は津軽大会、鹿島大会、三河大会、宝満大会と4大会の開催や、様々なイベントもあり、本部への依頼も多々ございました。そんなお話がくるたびに、「こんなとき永男ならどうしていたかしら?」と思いを馳せながら「私に出来る事は何?」と自問自答しておりました。ありがたい事に、皆様が一生命この会を盛り上げて下さり、安心して居られるのですが、甘えばかりじゃいけないわよね〜と



奮起。私も皆様と同じように唄えるように、頑張ります!という意味を込めての句でした。人生ってどんな未来が待っているかわからない所がおもしろいものですね。そして、世の中では2020年オリンピックが決まり、毎年全国大会が行われている『江戸東京博物館』はその準備に入ります。今年行われる全国大会は25回大会で、節目の記念大会ですが、この会場を使うのはおそらく最後になります。国技館でもオリンピック競技が開催されるという噂もあり、江戸ZORENも営業開始、葛飾北斎美術館も出来、刀剣博物館も2018年完成予定、両国の町はどんどん活気づいています。東京にお越しの際は、是非両国にお越し下さい。そして、江戸ZORENで自慢ののどを披露しましょう! 今年も皆様お元気で、楽しい年を過ごしましょう! 三千代



「芦北名所甚句」を披露する相撲甚句会の皆さん





▲桂国師範の力強いお言葉から宝満大会の始まりです



▲宝満相撲甚句会



▲玄海相撲甚句会



▲川副相撲甚句会

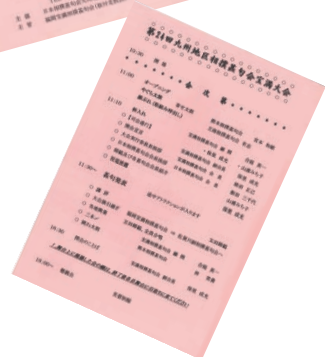


▲讚岐相撲甚句会 ▲鹿島相撲甚句会



▲大阪相撲甚句会

どとても楽しく過ごされたご様子でした。



九州大会ではいつものように、熊本甚句会のメンバーによる太鼓の打分けから始まりました。「トントントン トントントン トントントン」響き渡る音色の太鼓は熊本前会長竹矢さんからの寄付というから驚きです。今回主観を担って下さった宝満相撲甚句会はまだ入会して2年の新しい会ですが、桂国師範の元、手探りをしながら頑張つて下さっています。ほんわかした会長さんを梶原さんがしっかりとサポート。女性も沢山いて、和気あいあいと明るい会です。相撲甚句を唄う時はドキドキがこちらまで伝わってきそうなくらい緊張されたながらも、堂々と成果を発揮されていました。新しい川副甚句会からも歴史を感じる唄声や、玄海相撲甚句の堂々たる姿が印象的でした。どの大会にも積極的に皆さんで参加して下さいている大阪甚句会の皆様には本当に感謝で頭が下がります。また、讃岐甚句会の皆様は会長が居ない中でも仲良く参加して下さい、素敵な声を披露して下さいました。地元が近くの鹿島の高杉前会長は一人の参加なれ



昨年も  
いろいろな所  
にお邪魔致しました!



▲城西相撲甚句会  
練習風景

素敵な長老が甚句の味を出す中、現役ばりばりが大勢在籍している会です。元気があはつらつとしています。この日はフランスからの留学生も参加しました。7月28日



▲薩摩相撲甚句会  
練習風景

覚えたいけど、なかなか覚えられない〜と試行錯誤のまっ只中。でもとても真剣です。その気持ちさえあれば大丈夫!頑張れ!  
10月28日



▶全国大会反省会  
関東会長と推進委員が『ちゃんこ成山』にて



揃いの法被で稽古に励む



ひとつひとつの歌に真剣に取り組む



腹の底から声を出し、1曲ごとへとへとに

相撲甚句は江戸時代からの伝統芸。花街の座敷で歌われていた甚句を力「浜の香りに」緑が映り、現「えんじゆ」

相撲甚句は江戸時代からの伝統芸。花街の座敷で歌われていた甚句を力「浜の香りに」緑が映り、現「えんじゆ」

相撲甚句は江戸時代からの伝統芸。花街の座敷で歌われていた甚句を力「浜の香りに」緑が映り、現「えんじゆ」



「鶴登温泉湯のけむりホ  
イ、西は悪いの震生湖」  
秦野市の名所名物を紹介す甚句を朗々と歌っているのは「秦野相撲甚句会」のメンバー。カ士が巡業などで披露する民謡のひと「相撲甚句」の愛好家によって2010年に設立。現在70歳、80歳の男女4名ずつ、8人で活動している。

メンバーは入会時ほとんどが初心者だが、毎月2回市内の公民館で練習に励み、江戸東京博物館(東京都)で開かれる全国大会にも毎年出場している。

指導者を務める相原武光会長は「例えば同じ「ズ」でも、歌詞の1行目と2行目では声の出方が違う。奥が深い」と甚句の魅力を感じた。

「ハア、ドスコイ、ドスコイの合いの手。ユーモアと切なさの漂う七・七・七五調の歌詞。相撲とその甚句を愛す、横浜相撲甚句会取材しました。」

マ「1997年に横浜に甚句会を、日本相撲甚句会の創始者、呼出し永男さんからの要請を受けて、同会が誕生しました。」

以来、年に2度の全国大会、関東地区大会への出場。地域センターや介護施設などのボランティア活動で、歌声を披露しています。

初代若乃花の引退式での甚句を聞いて感銘を受けたという副会長の菅野藤雄さん(68)。「辛い修業や出世披露の甚句にたまらない哀愁を感じます」と話す通り、相撲甚句が紡ぐのはカ士の精進する姿。

一方で、祝い事や地域の名所、季節の風物詩などを取り入れて自由な歌詞を創作し、披露するのにもまた甚句の魅力。結婚式で両家を祝う甚句

て説明するのは難しいですが、難しいのが魅力なのかもしれません。」

会長の那須健二さん(76)は「相撲と甚句の愛好者を増やしていきたい。若い人に相撲甚句のよさを伝えられるように、これからも歌い継いでいきたいですね」と話しています。

現在、会員を募集中。稽古は月に2回土曜18時半に横浜西区センター(問) ☎045(30)7147、菅野(かん)の方

「うたえればそれが相撲甚句」

横浜相撲甚句会

マ「1997年に横浜に甚句会を、日本相撲甚句会の創始者、呼出し永男さんからの要請を受けて、同会が誕生しました。」

以来、年に2度の全国大会、関東地区大会への出場。地域センターや介護施設などのボランティア活動で、歌声を披露しています。

初代若乃花の引退式での甚句を聞いて感銘を受けたという副会長の菅野藤雄さん(68)。「辛い修業や出世披露の甚句にたまらない哀愁を感じます」と話す通り、相撲甚句が紡ぐのはカ士の精進する姿。

一方で、祝い事や地域の名所、季節の風物詩などを取り入れて自由な歌詞を創作し、披露するのにもまた甚句の魅力。結婚式で両家を祝う甚句



「鶴登温泉湯のけむりホ  
イ、西は悪いの震生湖」  
秦野市の名所名物を紹介す甚句を朗々と歌っているのは「秦野相撲甚句会」のメンバー。カ士が巡業などで披露する民謡のひと「相撲甚句」の愛好家によって2010年に設立。現在70歳、80歳の男女4名ずつ、8人で活動している。

メンバーは入会時ほとんどが初心者だが、毎月2回市内の公民館で練習に励み、江戸東京博物館(東京都)で開かれる全国大会にも毎年出場している。

指導者を務める相原武光会長は「例えば同じ「ズ」でも、歌詞の1行目と2行目では声の出方が違う。奥が深い」と甚句の魅力を感じた。

横浜と秦野は仲良く合同練習もしています!

「鶴登温泉湯のけむりホ  
イ、西は悪いの震生湖」  
秦野市の名所名物を紹介す甚句を朗々と歌っているのは「秦野相撲甚句会」のメンバー。カ士が巡業などで披露する民謡のひと「相撲甚句」の愛好家によって2010年に設立。現在70歳、80歳の男女4名ずつ、8人で活動している。

メンバーは入会時ほとんどが初心者だが、毎月2回市内の公民館で練習に励み、江戸東京博物館(東京都)で開かれる全国大会にも毎年出場している。

指導者を務める相原武光会長は「例えば同じ「ズ」でも、歌詞の1行目と2行目では声の出方が違う。奥が深い」と甚句の魅力を感じた。

秦野の名所朗々と  
秦野相撲甚句会



# のり甚句

相撲高

前項へ揃たそらいました国技の象が

現役OB つどいて楽し

相撲記者碑建立九十周年記念甚句

へびでた東京相撲記者クラブヨ

ア時は大正五年にて 大番とうたわれし

初代横綱梅ヶ谷 今日相撲の隆盛は

皆さま方のお力と 所も両国回向院

相撲記者碑を建立し ゆび折りなぞぞ九十年

大欽傘のあの欽声 鉄骨ゆるがすあの拍手

深夜に凍るベンをと 早朝汗してマイク持ち

津々浦々に報道し 土儀を伝えて幾屋霜

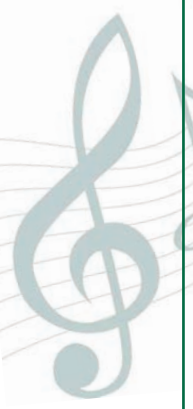
故人や先輩たたえつつ 互いの友情温めつつ

こよい集いし記念会 花も若くこの良き日

挙げてお祝い申しませすヨ

平成十八年九月吉日 国技館大広間にて

頭 天宮勇 大勇  
作 天宮出 永男



## 本部の予定

参加ご希望の方はお問い合わせ下さい TEL090-2436-8087中込

平成29年	1月28日(土)	横浜主催 関東大会
	2月19日(土)	総会
	3月12日(日)	永男法要 天嶽院
	4月23日(日)	第25回 全国大会
	4月24日(月)	靖国神社 甚句奉納
	5月14日(日)	川副主催 九州大会
	5月14日(日)	両国江戸のれん発表
	5月15日(日)	京都造形大学 講演
	5月20日(土)	両国江戸のれん発表
	5月21日(日)	"
	5月27日(土)	"
	5月28日(日)	"
	7月29日(土)	そうま主催 北部大会
	9月10日(日)	両国江戸のれん発表
	9月16日(土)	"
	9月17日(日)	"
	9月18日(月)	"
	9月23日(土)	"
	9月24日(日)	"
	10月21日(土)	神戸主催 西部大会

## 芦北町文化祭

10月29日、30日にしろやまスカイドームで芦北町文化祭が開催されました。

29日には日本相撲甚句会による相撲甚句の披露がありました。相撲甚句は相撲の巡業などで力士が披露する歌。この日のために制作された「芦北名所甚句（日本相撲甚句会飯田三千代会長作）」も披露され、観客は独特な節回しの唄声を楽しんでいました。

### 芦北名所甚句

芦北名所を甚句にとけばヨ、

ア一網で知られる不知火の 大海原に身をまかせ  
 風にたゆたう白い帆は 海の貴婦人うたせ船  
 佐敷諏訪の大社 無病息災祈りては  
 よいよいよと四股踏みて 懐かし母の子守歌  
 ねんねしなされおやすみと 大関山に抱かれて  
 最後の戦い西南の おいしいお米に地酒から  
 湧き出る名水真つ清水 おいしいお米に地酒から  
 肉に野菜に果物に 湯の花湯う温泉と  
 豊富な資源と環境は 暮らしを支える塩(縁)むすび  
 よく来た芦北ヨホホイ アー福が来たヨ、

作 呼出し永男の娘  
 日本相撲甚句会会長 飯田三千代